

## 令和5年6月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和5年6月19日（月） 午前9時30分～10時10分

2. 開催場所 近江八幡市文化会館2階会議室2

3. 出席委員

教育長	大喜多 悦子
教育長職務代理者	久家 昌代
委員	安倍 映子
委員	西田 佳成
委員	大更 秀尚

### 4. 事務局出席者

教育部長	田村 裕一
教育総務課長	岡村 祥子
教育部次長兼学校教育課長	森 茂次
教育部次長兼生涯学習課長	冨江 康子
近江八幡市立図書館長	奥村 恭代
学校給食センター長	森村 肇
教育部次長兼スポーツ課長	太田 明文
国スポ・障スポ推進課長	伊崎 裕二
子ども健康部幼児課長	畑 明宏
教育総務課長補佐	夜野 友昭
教育総務課副主幹	田村 俊幸

5. 会議を傍聴した者 0人

### 6. 会議次第

#### 【議案】

○議第19号 令和5年度教育費に関する6月補正予算の要求について（追加提案分）（非公開）

○議第20号 第6期「近江八幡市スポーツ推進審議会」委員の委嘱につき承認を求めることについて

## 【報告事項】

○令和4年度「図書館の概要」について

### 7. 議事の経過

#### (1) 開会（日程確認）

- ・教育長が6月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について **承認**
- ・非公開案件

#### 議案

- 議第19号 令和5年度教育費に関する6月補正予算の要求について  
(追加提案分)

#### (2) 会議録の承認

- 5月定例会の会議録 **承認**

#### (3) 教育長挨拶及び報告

夏も近づいてきており、暑さに困る状況になってきた。

5月30日に沖島小学校に県からへき地学校特別訪問があり、今年は県の福永教育長に訪問していただいた。県内には5つのへき地校があるが、毎年、県教育長は1校ずつ訪問されている。子どもたちの授業を見ていただき、本を寄贈していただいた。子どもたちは沖島太鼓を演奏し、お迎えしてくれた。沖島小学校には15人児童が在籍しているので、他のへき地校に比べて多いと驚かれていた。子どもたちは、授業の際は静かにしていたが、沖島太鼓はいきいきと演奏しており、休み時間は皆で遊んでいた。そのような様子を見ていただき、良かったと感じている。最後は旗を振って見送ってくれた。

6月1日には金田小学校の運動会があった。全校が一堂に会しての運動会で、団体演技と種目という2つの内容であったが、色別の縦割り集団による応援やエール交換をされた。子どもたちのいきいきとした表情を見ることができた。運動会で初めてあいさつをさせていただいたが、子どもたちはよく話を聞き、活動も活発で非常に良かった。保護者の方からも一堂に会して実施することは、下級生の子への応援や上級生を憧れの目で見ている姿を見ることができて良かったと話していただいた。

6月8日の総合教育会議では第3次子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、現状と課題が明確になり、将来目指す方向性についてもご意見をいただいたのでイメージできたと感じている。教育委員の皆さんからご意見をいただき、市長も子どもたちに読書の機会を与えることは大事とおっしゃっていた。学校司書についての意見も

伺うことができた。今後取り組んでいきたい。また、市民の皆様にもどのように読書の機会を多くしていただくのか、どのような取組をしていくのかというのが今後の大きな課題だと思う。関係各課と連携し、協働して進めていきたい。就学前の子どもたちの絵本が好きな様子が非常によくわかった。またそれを繋いでいく小中学校の子どもたちの課題もそれぞれあることから取り組んでいきたい。

6月10日の「伝えよう！熱い思い2023 中学生広場」では5人の中学生が発表した。共生社会、家族を思いやる心や家族のあり方、多様性の尊重、AI技術の発展など色々な内容であったが、審査の仕方として、近江八幡市としてどのようなものが良いのか、簡単な審査の項目を示していただいているが、審査基準をはっきりと設けた方が良いのではないかと考えている。審査基準を設けて、事前に各中学校に話をし作っていきたくと考えている。

各小中学校へ人事訪問を5月から6月にかけて実施した。6月15日が最終日であった。初任者や転任者の定着状況や学校の組織の課題や取組を見させていただいた。子どもたちが落ち着いて集中している授業は、先生方も少しゆとりをもって笑顔で授業をされていると感じた。先生方の指導力もあると思うが、先生方自身に落ち着きやゆとりがあるというのは大事なことだと思った。校長会等でも伝えていきたい。

6月16日には6月市議会定例会が開会した。今後、個人質問が3日間予定されている。その内容については次回お伝えしたい。

6月18日は、教育委員会が後援しているはちまん・あづち ふるさとアカデミーの「あづち・はちまんふるさと検定」で昨年度に初級で満点を取られた方、中級で最高得点を取られた方の表彰式があり出席した。本年も10月15日に「あづち・はちまんふるさと検定」を実施される予定。8月26日には小学校3年生から6年生までを対象にした「近江八幡こどもクイズ大会」が実施される。任意の団体ではあるが、取組を実施していただいているのは、ありがたく感じている。小中学校でのふるさと学習についても話をしてきた。

#### (4) 議事

- ◆議第19号 令和5年度教育費に関する6月補正予算の要求について（追加提案分）（非公開）

#### 【採 決】

- 議第19号 令和5年度教育費に関する6月補正予算の要求について（追加提案分）（非公開）

承認

◆議第20号 第6期「近江八幡市スポーツ推進審議会」委員の委嘱につき承認を求めることについて

【事務局説明…スポーツ課】

近江八幡市スポーツ推進審議会委員の任期が満了を迎えたことから、次期委員の委嘱につき承認を求めるもの。任期は、第1回の審議会が6月26日に開催されることから、当該日から令和7年3月31日までの2年間。前回の委員から商工会議所からの推薦者及び公募による市民代表が変更となっている。

【質 疑】

○安倍委員

女性委員は1名だけか。

○スポーツ課

これまではもう1名おられたが退任された。

○安倍委員

審議会などは男女共同参画で女性の意見も反映してほしいと思ったりするが、そのような配慮がこれからは必要になると思う。

○スポーツ課

各団体の長が委員になっていただくことが多く、男性が多いことから、このような形になっている。

○教育長

団体の長でなくても良いという考え方でなければ状況は変わらない。

○スポーツ課

各団体に案内はさせていただいているが、長がなっただけが多い。今後も促していきたい。

【採 決】

議第20号 第6期「近江八幡市スポーツ推進審議会」委員の委嘱につき承認を  
求めることについて

承認

●報告事項

◎令和4年度「図書館の概要」について

【事務局報告…図書館】

昨年度の施策としてはLED工事を計画的に実施し、近江八幡館についてはすべての照明をLED化することができた。街灯もすべてタイマーを設置してLED化を行った。宮内町の方々も向かいの薬局が閉店してからも1時間街灯が点いているので安全・安心だというお声もいただいている。

第2期近江八幡市立図書館サービス基本計画は、第1期近江八幡市立図書館

サービス基本計画の外部評価をもとに、教育委員の皆様にもご意見を伺いながら策定し、本年4月から実施している。第2期近江八幡市立図書館サービス基本計画については毎年評価をするということになっていることから、毎年図書館協議会で評価を実施していただきたいと考えている。

障がいのある方へのサービスや沖島への配本サービスは引き続き実施している。沖島への配本については年々利用者が増えている。島の方々とコミュニケーションを取りながら実施できていると感じている。

貸出冊数は、個人貸出冊数が令和3年度は60万冊を超えていたが、令和4年度は57万冊となった。これについては、近江八幡館がLED工事や蔵書点検で約1ヶ月休館した結果だと考えている。移動図書館車は、一般ステーションも校園ステーションも順調に貸し出しが伸びている。また、今回初めて地域別個人貸出冊数を出したが、隣の東近江市だけではなく、充実している守山市からも借りに来ていただいているということが分かった。配送サービスについても年々増えている。ただ、毎週配送に行っているので、職員の負担が増えていると感じている。

一人あたりの図書費や資料費は年々伸びており、ありがたいと思っている。

#### 【意見】

##### ○大更委員

河瀬中学校の2年生が職場体験に来られているが、市内在住なので来られているのか。それとも依頼があったのか。

##### ○図書館

市内在住の方。先生が頼みに来られた。

##### ○安倍委員

沖島では本より人に出会いたいということだと思う。やはり人を介して本を借りる、人に出会うというのがどれほど心丈夫でうれしいことかと考えるとそのようなことを大事にしていきながら本に出会ってもらえると嬉しい。

司書について、充足していくことが小学校や中学校、就学前施設に良いサービスが提供できることから大変重要なことだと認識した。ただ、概要に記載されている職員体制で充足されているのか。どれだけ不足しているのかが読み取れない。状況としてはどうか。

##### ○図書館

令和4年度は合計28名であった。主事がなかなか定着していない状況となっている。近江八幡図書館だけが特別に業務が多いというわけではないが、業務が多いということは休んだ職員から理由として聞いている。県内の図書館でも大体同じような業務を実施されており、残業等についても本市が突出して多いわけではないと思っている。どこも人数不足の中で業務を行っておられる。8万2千人規模での必要人数は決められており、その数は大体クリアしているが、職

員の資質や経験など積み重ねていくものがある。これまで退職した職員が会計年度任用職員で賄われていたことにより、新たに採用があってもなかなか指導が行き届かなかつたり、採用されても求めるものが高かつたりということではなかなか定着していないというのが実情。その中で会計年度任用職員については10年や15年と長く勤めていただいております、非常に助かっている。これらの方々の処遇も改善していければと考えている。

○教育長

移動図書館を実施されているところは他にもあるのか。

○図書館

県内では大津市、彦根市、草津市、栗東市、東近江市、湖南市、甲賀市、多賀町で実施されている。正規職員が乗って行っておられ、ステーションの数も本市より多い。

○安倍委員

司書の人数について、充足していく事が子どもの読書に大変重要だと思うので、人員について十分考慮していくことが必要かと思う。人も大事だと思うので、願います。

○教育長

地域別個人貸出冊数の部分で他市からはリクエストではなく、直接借りに来られているのか。

○図書館

市内に在住の他市の先生などが直接借りに来られている。

## 8. その他

次回7月教育委員会定例会 7月26日(水)

## 9. 閉会

教育長が6月定例会の閉会を宣言